



慶野 常夫 議員
(政友みらい)



カメムシによる被害について

Q 本市の果実農家では、クビアカツヤカミキリの被害が拡大しており、何年も育ててきた樹木を伐採しなければならぬという現状を身近で見ている。そこへカメムシの大量発生という果実園農家への二重の被害が起こらないようにしたいが、本市でのカメムシによる梨、桃の被害状況について伺いたい。

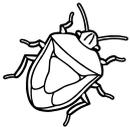
A 産業文化スポーツ部長

本市におけるカメムシによる梨、桃の被害の状況については、安足農業振興事務所や佐野農業協同組合などにも確認をしたところ、現在のところ宮農に支障を来すまでの被害はありませんでした。

今後、営農に支障を及ぼす被害が発生した場合には、安足農業振興事務所や佐野農業協同組合などの関係機関と連携し、早急に被害状況を把握するとともに、被害拡大の防止に努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆通学路交通安全対策について
☆無許可で搬入された土砂について



早川 貴光 議員



佐野市デジタル人材育成指針について

Q デジタル人材の育成により業務改善、行政改革を推進する中でポイントである、庁内での意識を改革することにどのように取り組まれるのか。

A 行政経営部長

庁内の意識改革については、総務省の人材育成・確保基本方針策定指針でも触れられていますが、管理職層のDXへの心理的ハードルが推進の阻害要因の一つと考えられ、これを下げる取組が必要となっております。

デジタルスキルには、単にデジタル技術を使いこなすスキルだけではなく、デジタル技術の必要性や変化に対応、推進できるスキルと、業務の流れから問題点を把握し、デジタル技術を活用して課題解決に取り組めるスキルなども含まれますので、DX研修等を通して管理職層の意識改革を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆ごみ焼却施設の安全な管理及び業務について



田所 良夫 議員
(新政クラブ)



半導体工場誘致について

Q 下野新聞の報道によると、台湾半導体工場誘致合戦敗れるとの見出しで、福田富一栃木県知事は令和5年12月4日の県議会代表質問で台湾の半導体受託生産大手の力昌積成電子製造(PSMC)とSBIホールディングス(株)が国内で新設する半導体工場の誘致に動いていたことを明らかにした。本市はこの誘致合戦に関わることができたのか。

A 産業文化スポーツ部長

台湾半導体工場の誘致については、令和5年7月にSBIホールディングス(株)が台湾の半導体ファウンドリ大手のPSMCと日本国内での半導体工場設立に向けた準備会社を設立し、工場立地場所の選定を実施するとの表明を受け、本市としては栃木県及び金融機関と連携を図り、市長を先頭にトップセールスを行ったところです。

その他の質問

☆天明鑄物まちづくりについて
☆市長公約の点検について
☆市長公約の背景と構想等について

結果としては、当該工場の宮城県内への立地が決定したところですので。